

## ■効果の見える治水事業

いくなだに  
徳島県 生名谷 総合流域防災事業

徳島県県土整備部 こんどう ふみあき  
東部県土整備局長 近藤 文彰



### ○概要

勝浦川水系生名谷は、勝浦郡勝浦町石垣に位置する土石流危険渓流Ⅰです。当渓流の被害想定区域内には、人家が40戸、避難所に指定されている生名コミュニティセンターや、四国霊場第20番札所の鶴林寺へのアクセス道でもある県道と食勝浦線の重要施設があります。

当箇所の中流部には多くの巨石が堆積しており、上流部の荒廃も著しく、出水時には渓流堆積物の流下及び突発的な山腹崩壊に伴う土石流等により、下流域の人家等に甚大な被害を及ぼす恐れがあるため、早急な対策工の実施が必要となっております。

このため、平成21年度より総合流域防災事業による砂防堰堤の整備に着手し、これまでに本堤工が完成しております。現在、出水期までの完成を目指して、護岸工の施工を進めているところです。

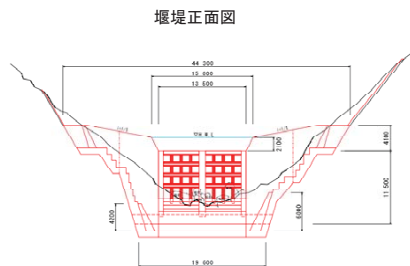
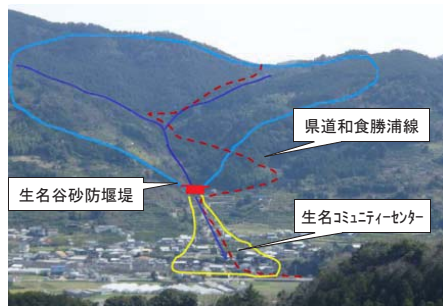
本県の中山間地域では土砂災害発生の危険性が高いことから、引き続き緊急輸送道路や避難路、避難所を保全する箇所の整備に重点的に取り組んでいきたいと考えております。

### ○事業内容

透過型砂防堰堤：本堰工 1基 (H=11.5m L=44.3m)

### ○事業期間

平成21年度～平成25年度



平成26年2月現在 護岸工施工中



## ～安全・安心なまちづくり～

なかた うしごろう  
徳島県 勝浦町長 中田 丑五郎



徳島県の南東部に位置する人口5,700人・面積69.8㎏の勝浦町は、緑なす四方の山々、山の中腹まで開けたみかん畑、平野に広がる田園風景、そして、まちの中央を流れる清流勝浦川が、我が郷土勝浦町の自然の豊かさを表現しています。

本町は、日中の適度な日照と盆地特有の寒暖差による自然の恵みを受け、酸味と甘みのバランスのとれた美味しいみかんの産地ですが、みかん畑の開けた山腹から山裾にかけては土砂災害の危険性を含んでおり、その対策は本町が抱える課題の一つであります。

今年で26回目を迎えた「ビッグひな祭り」の会場である人形文化交流館や隣接する道の駅「ひなの里かつうら」が位置する生名地区で砂防堰堤が整備され、住民の安全・安心の確保が図られます。また、横瀬地区では急傾斜地崩壊防止施設の整備が進んでいますが、町内には整備を要する箇所が多く残っております。

今後も「安全・安心なまちづくり」の実現のため、防災施設の整備、公共施設や住宅の耐震化等、防災力の強化を図ってまいります。



○生名谷川砂防堰堤



○「ビッグひな祭り」



○道の駅「ひなの里かつうら」



○勝浦みかんキャラクター「ちょぞっ娘」